事業所名　子ども発達支援センターからふる

# 支援プログラム

作成日　2024 年　12 月　1 日

| | |
|---|---|
| 事業所理念 | 子どもと家族が力強く生きていくことを願って |
| 支援方針 | ・障がいのある子どもたちが、将来その子らしく自分の人生を生きるための基礎を育て、それぞれの子どもに応じた療育を、家族と共に行います。<br>・地域の子どもたちの発達支援やその家族への子育て支援、相談を行います。また、おもちゃ図書館活動などを通して、地域の子育て支援にも協力します。<br>・センター機能を活かし、障がい児を預かる施設や集団への援助や助言を行います。また、関係機関と連携し、地域に必要とされるセンターを目指します。 |

| 営業時間 | 8 時 30 分から 16 時 30 分まで | 送迎実施の有無 | あり　なし |
|---|---|---|---|

**支　援　内　容**

| | | |
|---|---|---|
| 本人支援 | 健康・生活 | ①健康状態の把握・維持<br>・登園後、降園前に検温、視診をおこない、健康管理をおこないます。<br>・年に２回の健康診断、身体測定、尿検査、ぎょう虫検査を行ない、健康維持ができるようにします。<br>・手指消毒、換気など感染予防を行います。<br>・歯科健診を行い、口腔機能の維持を図ります。<br>・バランスの良い給食を提供します。また、アレルギーや、個々の咀嚼、嚥下機能に配慮した食事の提供も行います。<br>②基本的生活スキルの獲得<br>・個々の咀嚼・嚥下機能、感覚などに配慮した食事を提供することで食べる楽しさを感じることができるようにします。<br>・個々の体、手先の運動機能に合わせた道具の使用ややり方を考え、支援者と一緒に取り組み基本的な生活スキルの獲得を促します。<br>・スモールステップで支援を進めることで達成感を感じ、自分の身の回りのことに意欲的に取り組む姿勢を育てていきます。<br>③構造化等による生活環境の調整<br>・日々の生活の繰り返しの中で、見通しを持つことができるように生活の流れや環境を整えます。<br>・障害特性、発達を考慮したクラス分けを行い、本人に合った環境の中で生活することが出来るようにします。 |
| | 運動・感覚 | ①姿勢と運動・動作の向上<br>・園庭遊び、粗大運動、感覚運動遊び等を通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上下肢の運動・動作の習得や筋力の維持、強化を図ります。<br>②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用<br>・姿勢保持や運動動作が困難な場合は、姿勢保持装置などの補助的手段を活用し支援します。<br>③保有する感覚の総合的な活用<br>・感覚運動遊びを通して、視覚、触覚、聴覚、前庭覚、固有覚などの感覚を刺激していくことで、活動や集団に合わせて体を動かしたり行動できる力を育てます。<br>・個々の感覚特性（敏感や鈍麻）を把握し、環境調整を行ったり、感覚刺激を十分に感じることができるようにします。 |
| | 認知・行動 | ①認知特性についての理解と対応<br>・個々のの認知特性を理解し、集団の中で適切に行動出来るように環境設定したり、視覚的な支援を用いるなどして理解できるようにします。<br>②空間、時間、数等の概念形成の習得<br>・生活動作や感覚運動遊びなどでいろいろな体の使い方を経験していくことで、周囲の環境に働き掛けたり、操作性を促します。<br>・一日のスケジュールや、タイマー等での提示を通して、時間の概念形成を促します。<br>・遊びや活動の中で、具体物の操作を通して色や形、数、大小、長短などの概念の獲得を促します。<br>③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得<br>・視覚支援など、認知特性に合わせた指示の提示や環境調整を行い、場面に応じた行動やコミュニケーションを促します。<br>・本人の認知特性を理解し、必要に応じてこだわりや偏食にアプローチしていきます。 |
| | 言語<br>コミュニケーション | ①言語の形成と活用<br>・様々な活動を提供し、経験を通して言葉の理解を促します。<br>・様々なやりとりを生活や遊びの中で経験し、状況や場に応じた言葉の使い方を身に付けていくことができるようにします。<br>②言語の受容及び表出<br>・本人の表出を受け止め、自分の思いが相手に伝わる経験を重ね、コミュニケーションの土台を作ります。<br>・絵カード、身振りなど、個々に合わせた方法で伝えることで理解や表出を促します。<br>③コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の活用<br>・絵カード、身振り、手話などの個々に合わせたコミュニケーション手段を用いて支援者とやり取りする中で、理解と表出を促します。<br>・コミュニケーション場面を段階的に広げていき、いろいろな場面を通して他者とのコミュニケーションを促していきます。 |
| | 人間関係<br>社会性 | ①他者との関わりの形成<br>・支援者とスキンシップや好きな遊びを通して、楽しさを共有したり、思いを受け止めることで信頼関係を構築していきます。<br>・支援者との信頼関係をベースに、周囲の人、友だちとの安定した関係に広げていきます。<br>②自己の理解と行動の調整<br>・支援者に思いを受け止めてもらいながら折り合いをつけたり、気持ちを切り替え、気持ちや情動を調整することができるようにしていきます。<br>・苦手なことに支援者と一緒に取り組み、「できる」経験を積んでいくことで、自信につなげたり、ヘルプスキル（他者に助けを求める）の獲得を促します。<br>・行動特性に合わせた環境調整や集団への参加の方法を提案していくことで、集団の中で落ち着いて過ごすことができるようにします。<br>③仲間づくりと集団への参加<br>・興味関心に合わせた遊びの提供を通して、遊びを広げていきます。<br>・支援者との１対１の遊びの中で、相手を意識して模倣したり、人との関りを楽しみながら遊びを広げていくことができるようにします。<br>・支援者を介した友達との関わりの中で、友だちを意識し、自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めながら遊ぶ経験を積むことが出来るようにし、人との関わりを広げます。<br>・集団遊びのルールや手順を分かりやすく伝え、集団での遊びや活動に意欲的に取り組むことで、友だちとの関係づくりや集団への適応を促します。<br>・集団遊びやグループでの活動を通して、順番やルール、友達と協力する、失敗や負けを受け入れる等、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を作ります |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家族支援 | ・保護者学習会<br>・親子療育（音楽療法、水泳療育、ＰＴ訓練、参観日、行事）<br>・親子通園（入園時）<br>・個別面談（年３回、適宜）<br>・ペアレントメンターによる相談会 | 移行支援 | ・保護者の意向を伺いながら、発達に応じた環境で生活を送ることができるようにします。<br>・就園、就学について情報提供や、見学、体験の機会を提供し、保護者が主体的に決定していくことができるようにします。<br>・就園、就学先などに情報提供を行い、移行先でも安心して生活を送ることができるようにします。 |
| 地域支援・地域連携 | ・併行利用先の幼稚園、保育園への訪問、連携会議、教育相談などを通して、共通理解、情報を共有し連携する。 | 職員の質の向上 | ・園内研修（特性理解、支援方法、発達、虐待防止、衛生など）<br>・法人研修（虐待研修・メンタルヘルスなど）<br>・外部研修 |

| | |
|---|---|
| 主な行事等 | 始まりの会、家族懇親会、夏祭り、遠足、運動会、クリスマス会、豆まき、ひなまつり、卒園式、終わりの会<br>参観日（各クラス年３回）　野外交歓会（萩市手をつなぐ育成会主催） |